

「短冊に願いごと書いてね」

市民で七夕飾り取り付け

やない西藏・町並み資料館

柳井市白壁の町並みを守る会（木阪泰之会長）は28日、柳井中学校生徒、市民ボランティア、市観光協会学生部会メンバーの協力を得て、白壁の町並みの恒例行事「七夕祭り」の飾り付け作業を、やない西藏と町並み資料館で行った。

今年で26年目を迎える七夕祭りを、持続可能な地域行事にしよう

また、これまで実施していた竹の伐採・運搬を見直し、成形笹を活用することに変更。展示場も町並み全体から、「やない西藏」と「町並み資料館」の2施設に集約することで、管理負担を軽減しながら来場者がゆつくり鑑賞できる環境にした。



町並み資料館での飾り付け作業



やない西藏での飾り付け作業

この日の作業には、柳井市白壁の町並みを守る会、市観光協会学生部会、柳井中学校生徒、市民ボランティアなど約30人が参加。参加者は2組に分かれて、各施設に用意された成形笹各9本を組み立て、放光保育園、ルンビニ保育園、柳美幼稚園、若葉保育園、羽仁保育園の園児が願い事を書いた短冊を各

8本に飾り付けていった。残り各1本については、両施設を訪れた観光客等にも参加してもらおうと、願い事短冊を書いて飾り付けてもらうよう設置した。

木阪会長は「従来の運営方法を大きく変更したのは、地域行事の持続可能性を考えて、若い世代が参画して地域住民との交流を通じて学ぶ実践の場にした」と考えてのこと。また、市民だけでなく観光等で訪れた人にも願い事を書いてもらい、地域とのつながりを体験できるようにしました」と話していた。

土砂崩れで家が倒壊、1人死亡

平生町小郡地区で土砂災害

6月26日午後7時40分ごろ、平生町小郡（おくに）で発生した土砂災害で、家が土砂崩れ

で倒壊し、住人の男性（74）が死亡、46歳と73歳の女性が重傷、23歳の男性が軽傷を負っ

た。柳井地区広域消防本部によると、26日午後7時44分、建物の居住